

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第1回 鈴鹿市立清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年5月17日(金) 15:00 ~ 16:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

委員長 辛口の応援団として一緒に考え、共に学校を良くしていきたい。

校長 学校運営協議会にお願いしたい役割は、学校への意見をいただく、学校経営の方針を承認する、教育活動の評価をしていただく、の3点。よろしくお願ひしたい。

4 協議内容

(1) 学校経営の改革方針について

- ①学校経営の改革方針について
- ②学校自己評価について
- ③各種年間計画について
- ④学校配当予算について

上記について承認

《委員から》

- ・「非認知能力」という言葉は聞きなれない言葉であるが、大切な内容である。
- ・休暇取得、企業に倣って教職員も取得しやすい環境づくり、取得できる状況づくりを行う必要がある。
- ・改革方針の指標となっている数値について公開するのか。
→ 関連項目については具体的な数値や前年との変化等をとともに状況を伝える。
- ・学校を取り巻く課題は多岐である。それらを支える人材の発掘を進めていく必要がある

(2) 清和小学校の様子について

①学校だより「せいわ」について

公民館等にも掲示し、学校教育活動を周知し、理解を得たい。

②学校運営協議会だよりについて

委員の協力を得ながら年間1回、2回程度の発行ができないか、今後検討していく。

③古紙回収 及びアルミ缶の回収について

令和6年度も継続する。

④校区、通学路の危険個所について

《委員から》

- ・地域でも定期的に巡回している。自主防災隊でも確認している。
- ・算所四丁目では踏切が該当箇所にあたる。
- ・自治会ではパンダマークの貼り付けを行っている。
- ・PTAの旗当番について、児童減少により順番が早く回るという課題がある。2人体制から1人体制を探っている。ボランティアさんも安全のために交差点等に立ってもらっている。

⑤地域学習

本年度も実施したいと考えている。5年生で準備を進めていく。

5 コミュニティスクールアドバイザーから

清和小学校の児童の実態や現状と、非認知能力の育成とには関わりがある。学校として取組を進めていただきたい。

清和小学校は地域、PTAから大切にされている学校である。地域、PTAへの気持ちや取組の在り方、特にともに子どもを見守ろうとするスタンスは協働型として作用しているといえる。コミュニティスクールだよりの発行については、できることから進めればよく、記事や写真を提供していただくこと等からやっていくのも方法の一つである。